



# 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パーカーコーポレーション  
 コード番号 9845 URL <http://www.parkercorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 善和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 山崎 敏男

TEL 03-5644-0600

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	36,020	33.7	2,216	77.6	2,348	42.1	1,596	36.8
26年3月期第3四半期	26,940	20.1	1,247	33.3	1,652	60.4	1,166	99.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,469百万円 (△9.1%) 26年3月期第3四半期 2,717百万円 (256.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	61.61	—
26年3月期第3四半期	45.03	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	45,966	22,058	42.8
26年3月期	42,520	20,210	41.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 19,667百万円 26年3月期 17,699百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	21.3	2,850	50.4	2,900	23.7	1,800	9.2	69.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	26,801,452 株	26年3月期	26,801,452 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	897,181 株	26年3月期	893,788 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	25,906,466 株	26年3月期3Q	25,912,171 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるグローバル経済は、米国では企業業績の回復と雇用情勢の改善、個人消費の増加等から緩やかな拡大基調が続き、欧州では低成長基調で推移しました。また中国をはじめアジア圏の主要国では成長減速の長期化が懸念されております。

わが国の経済につきましては、消費税率引上げに伴う消費マインドの冷え込み、円安による資源や諸物価の高騰、夏季の天候不順等の影響により個人消費は伸び悩みが見られましたが、金融緩和策と経済対策、石油価格の下落もあり景況感は緩やかに改善しました。

このような経済情勢の下、当社グループではマーケティング力の強化、生産体制の効率化推進、適地生産体制の更なる強化によりグローバル市場への販売強化を行ってまいりました。

その結果、当社グループの第3四半期の連結業績は、売上高は36,020百万円（前年同期比33.7%増）、営業利益は2,216百万円（前年同期比77.6%増）、経常利益は2,348百万円（前年同期比42.1%増）となり、四半期純利益は1,596百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

#### ・機械部門

自動車業界向け製造装置の販売は主に海外市場において好調に推移しましたが、製靴業界及び食品業界向け製造設備物件の販売は減少しました。

当部門の売上高は、1,777百万円（前年同期比0.8%増）、営業損失は37百万円（前年同期の営業損失は6百万円）となりました。

#### ・化成部品部門

自動車業界向け製造販売は国内市場では軟調に推移したものの、アジア圏では順調に推移し、中米での製造販売も軌道に乗ったため海外市場では好調に展開しました。更に、子会社化したアサヒゴム株式会社の製造販売も加わりました。

当部門の売上高は、10,969百万円（前年同期比92.6%増）、営業利益は1,124百万円（前年同期比91.3%増）となりました。

#### ・化学品部門

前年同期での洗浄装置に相当する大型物件の販売はありませんでしたが、国内及びアジア地域での一般工業用及び特殊ケミカルの製造販売は堅調に推移しました。

当部門の売上高は、3,999百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は104百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

#### ・産業用素材部門

国内市場での自動車用防音材需要は減少したものの、アジア及び米国市場向け製造販売は好調となり、家電用防音材も堅調に推移しました。また、アサヒゴム株式会社の子会社化による同社の自動車用防音材及び生活資材の販売が加わりました。

当部門の売上高は、14,308百万円（前年同期比36.3%増）、営業利益は869百万円（前年同期比115.8%増）となりました。

#### ・化工品部門

アジア市場におけるファインケミカルの製造販売は好調に推移するものの、国内市場では前年同期に相当する大型塗装設備の受注がなく、またカーケア関連ケミカルは、夏の天候不順の影響により低調に推移しました。

当部門の売上高は、2,761百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は74百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

#### ・その他部門

主に中国貿易におけるケミカル品等の販売が好調に推移しました。

当部門の売上高は、2,203百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は80百万円（前年同期比166.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ3,446百万円増加し、45,966百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(1,616百万円)、商品及び製品の増加(586百万円)、新規設備投資等の取得による有形固定資産の増加(321百万円)、株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増加(601百万円)及び長期貸付金の増加(236百万円)によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ1,598百万円増加し、23,908百万円となりました。主な要因は、期末日が休日であることから期末日満期支払手形の影響などによる支払手形及び買掛金の増加(932百万円)、短期借入金の減少(346百万円)及び長期借入金の増加(844百万円)によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ1,847百万円増加し、22,058百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(1,407百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(395百万円)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中国を中心としたアジア圏での自動車業界向け化成品や防音材の製造販売が好調であり、また為替レートの円安基調が続くものと思われることから、売上高及び利益ともに平成26年5月13日に公表した通期の業績予想を上回る見込みとなりました。なお個別業績につきましては変更がございません。

平成27年3月期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 43,600	百万円 2,250	百万円 2,300	百万円 1,450	円 銭 55.96
今回修正予想 (B)	48,000	2,850	2,900	1,800	69.47
増減額 (B-A)	4,400	600	600	350	
増減率 (%)	10.1	26.7	26.1	24.1	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	39,578	1,895	2,344	1,647	63.59

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が50,837千円増加し、利益剰余金が32,719千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微となっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,628,820	7,245,479
受取手形及び売掛金	12,060,553	11,829,300
商品及び製品	2,966,481	3,552,559
仕掛品	427,978	414,724
原材料及び貯蔵品	1,346,851	1,208,807
繰延税金資産	306,792	312,027
その他	924,015	1,054,609
貸倒引当金	△7,478	△6,713
流動資産合計	23,654,014	25,610,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,542,221	7,580,053
減価償却累計額	△4,337,485	△4,503,739
建物及び構築物（純額）	3,204,735	3,076,314
機械装置及び運搬具	6,631,029	7,312,558
減価償却累計額	△4,712,960	△5,000,232
機械装置及び運搬具（純額）	1,918,069	2,312,325
土地	6,061,150	6,074,843
リース資産	589,109	500,518
減価償却累計額	△295,226	△254,306
リース資産（純額）	293,882	246,211
建設仮勘定	237,446	152,252
その他	3,828,501	4,163,636
減価償却累計額	△3,230,258	△3,390,608
その他（純額）	598,243	773,027
有形固定資産合計	12,313,527	12,634,975
無形固定資産		
借地権	609,829	661,447
リース資産	5,554	3,440
のれん	1,373	1,030
その他	141,917	238,886
無形固定資産合計	758,675	904,804
投資その他の資産		
投資有価証券	4,819,940	5,420,998
長期貸付金	61,631	298,594
繰延税金資産	23,501	23,982
その他	1,078,723	1,260,999
貸倒引当金	△189,422	△188,302
投資その他の資産合計	5,794,374	6,816,271
固定資産合計	18,866,578	20,356,051
資産合計	42,520,592	45,966,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,621,880	8,553,931
短期借入金	4,819,383	4,472,738
1年内返済予定の長期借入金	350,000	626,752
リース債務	164,291	134,911
未払法人税等	434,741	407,061
賞与引当金	518,086	273,758
繰延税金負債	-	1,756
その他	1,430,658	1,734,267
流動負債合計	15,339,042	16,205,176
固定負債		
長期借入金	4,038,248	4,605,736
リース債務	155,050	128,752
繰延税金負債	759,275	908,223
役員退職慰労引当金	209,816	216,064
退職給付に係る負債	1,667,766	1,710,650
資産除去債務	14,946	15,218
その他	125,495	118,630
固定負債合計	6,970,600	7,703,276
負債合計	22,309,642	23,908,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,205	2,201,205
資本剰余金	2,277,399	2,277,399
利益剰余金	10,502,667	11,910,183
自己株式	△204,056	△205,712
株主資本合計	14,777,215	16,183,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,350,694	2,746,103
繰延ヘッジ損益	5	11,427
為替換算調整勘定	600,881	752,290
退職給付に係る調整累計額	△29,189	△24,901
その他の包括利益累計額合計	2,922,393	3,484,919
少数株主持分	2,511,341	2,390,398
純資産合計	20,210,950	22,058,394
負債純資産合計	42,520,592	45,966,847



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	26,940,758	36,020,746
売上原価	20,595,303	27,180,096
売上総利益	6,345,455	8,840,649
販売費及び一般管理費	5,097,641	6,624,384
営業利益	1,247,813	2,216,265
営業外収益		
受取利息	22,798	27,546
受取配当金	48,429	50,962
負ののれん償却額	12,027	-
持分法による投資利益	166,326	36,004
為替差益	169,333	93,968
その他	79,063	85,830
営業外収益合計	497,977	294,311
営業外費用		
支払利息	52,674	108,531
その他	40,903	53,726
営業外費用合計	93,578	162,258
経常利益	1,652,213	2,348,318
特別利益		
固定資産売却益	2,848	2,919
投資有価証券売却益	-	134,237
負ののれん発生益	148,748	24,988
関係会社株式売却益	-	100
関係会社出資金売却益	-	1,143
保険差益	-	47,345
段階取得に係る差益	9,387	-
特別利益合計	160,984	210,734
特別損失		
固定資産売却損	9,379	49
固定資産除却損	4,025	3,354
減損損失	-	1,442
特別損失合計	13,404	4,847
税金等調整前四半期純利益	1,799,793	2,554,205
法人税、住民税及び事業税	472,483	609,622
法人税等調整額	△5,009	△10,598
法人税等合計	467,473	599,023
少数株主損益調整前四半期純利益	1,332,320	1,955,181
少数株主利益	165,561	359,001
四半期純利益	1,166,758	1,596,180

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,332,320	1,955,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	492,961	306,708
繰延ヘッジ損益	△1,012	11,421
為替換算調整勘定	731,964	80,313
退職給付に係る調整額	-	4,293
持分法適用会社に対する持分相当額	160,942	111,483
その他の包括利益合計	1,384,855	514,220
四半期包括利益	2,717,176	2,469,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,333,927	2,158,707
少数株主に係る四半期包括利益	383,248	310,695

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,763,180	5,695,494	4,122,181	10,494,845	2,901,864	24,977,567	1,963,191	26,940,758	—	26,940,758
セグメント間の 内部売上高又は振替高	87,238	95,951	41,783	75,364	339	300,677	91,167	391,845	△391,845	—
計	1,850,418	5,791,446	4,163,965	10,570,210	2,902,204	25,278,245	2,054,359	27,332,604	△391,845	26,940,758
セグメント利益又は 損失 (△)	△6,041	587,694	96,686	403,045	136,215	1,217,599	30,214	1,247,813	—	1,247,813

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸・介護機器を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,777,666	10,969,603	3,999,705	14,308,636	2,761,836	33,817,446	2,203,299	36,020,746	—	36,020,746
セグメント間の 内部売上高又は振替 高	71,203	586,838	88,599	257,061	1,170	1,004,873	178,834	1,183,707	△1,183,707	—
計	1,848,869	11,556,442	4,088,304	14,565,697	2,763,006	34,822,320	2,382,134	37,204,454	△1,183,707	36,020,746
セグメント利益又は 損失 (△)	△37,591	1,124,469	104,872	869,883	74,198	2,135,833	80,431	2,216,265	—	2,216,265

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

当社は、平成27年1月1日付で確定給付年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行しました。この移行に伴う会計処理については「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用する予定であります。

なお、本移行に伴う影響額については、算定中であるため記載しておりません。